

科目名		授業形態	担当教員名	
人間関係論		講義・演習	木村 和弘	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
30 時間 （ 2 単位）		15 回	1 年次	前期
授業の目的・概要				
医療従事者は、様々な背景をもつ他者と関わり、人間関係を適切に構築する必要があります。そのために、まずは自分のことを良く知る必要があります（自分の価値観、コミュニケーションの傾向等）。そして、人の多様性を理解し、思いやりの心や他者を尊重する気持ちを持ってコミュニケーションを行うことが重要です。本科目では、コミュニケーションに関する基本的知識と態度を身につけ、協力的に人と関わる体験を通してコミュニケーションの意義と重要性を学ぶことを目的とします。ますます重要となる多職種連携のためのコミュニケーションも学びます。				
授業の到達目標				
①コミュニケーションの意義と重要性を説明できる。②コミュニケーションの方法と技能を説明できる。 ③相手に関心をもって人の話を聞くことができる。④話し手聞き手の役割りに基づいて適切なコミュニケーションスキルが活用できる。 ⑤コミュニケーションにより良好な人間関係を築き、このスキルを活用しチームの一員として責任を果たせる。				
授業計画				
回	内容			
1	コミュニケーションの基本 ～良いコミュニケーションとは？専門職のコミュニケーションとは？～			
2	良いコミュニケーションのための人間行動理解 その① 人間関係の形成を考える ～愛着理論・他～			
3	良いコミュニケーションのための人間行動理解 その② 人間関係のための自己理解 ～自己覚知～			
4	信頼関係を構築するためのコミュニケーション その① 傾聴のための具体的方法 ～相談援助面接の技法～			
5	信頼関係を構築するためのコミュニケーション その② 傾聴の実際 ～事例を通して学ぶ～			
6	信頼関係を構築するためのコミュニケーション その③ プレゼンテーション ～連携の為の伝える力～			
7	対人援助職者のための人間行動理解 その① ストレスコーピング, ソーシャルサポート			
8	対人援助職者のための人間行動理解 その② 喪失・ターミナルケア ～どのように接するべきか～			
9	患者様・ご家族様への接し方を考える その① 医療従事者の職業倫理から考える			
10	患者様・ご家族様への接し方を考える その② 高齢者の身体・心理的特性を理解した対応①			
11	患者様・ご家族様への接し方を考える その③ 高齢者の身体・心理的特性を理解した対応②			
12	患者様・ご家族様への接し方を考える その④ 相手のコミュニケーションのタイプを理解した対応			
13	患者様・ご家族様への接し方を考える その⑤ 相手の想い・ニーズを捉える ～対応力のセンスを磨く～			
14	多職種連携とコミュニケーション その① 多職種連携の必要性和難しさ ～連携の促進要因・阻害要因～			
15	多職種連携とコミュニケーション その② 全体のまとめ ～複雑な時代に対応するために～			
成績の評価方法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
筆記試験	40%	選択式問題と、作文問題を出題します。		
レポート・課題				
小テスト				
平常点	30%	毎回、個人ワーク、グループ討議を行います。取り組みの姿勢、学びについて評価します。		
その他	30%	毎回、講義の最後に「今日の学び」というミニレポートを書きます。その内容による評価です。		
自由記載				
教科書				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載	毎回、テーマに応じた資料を配布します。			
参考文献				
書名		著者・編集者名	出版社名	
なし				
自由記載				
備考				